

学校教育診断結果

【集計結果より】

今年度も全学年の保護者対象にオンラインによるアンケートを行いました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。今年度よりアンケートの問いの差し替え、および回答の選択肢などを改訂いたしました。そのため昨年度まで行っていた前年度との比較が、数値の大幅な変化に伴ってできなくなりました。今年度は比較ではなく、結果からの分析にとどめたいと思います。各項目に対する回答結果が「よくあてはまる」「ややあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を否定的評価とし、判断基準として、肯定的評価が70%以上、否定的評価が30%以上とします。その判断基準に照らし合わせますと、肯定的評価は22項目中20項目。「課題あり」と認識される項目が2項目という結果になります。まず項目4「子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている。」69.7%ですが、生徒向けの項目9「授業がわかりやすい」が90%の高い結果と差異があります。生徒の回答率（約80%）と保護者の回答率（約40%）の差が数値に表れたのかもしれませんが。本校では授業改善に積極的に取り組み、少しでも良い授業を作り上げようと努力しており、今後もその姿勢を継続していきます。項目22「PTA活動には参加しやすい。」56.8%については、次年度に役員方のご意見も踏まえて改革を進めたいと思います。また、70%は超えているものの、80パーセントに届かなかった項目についても、油断することなくさらなる改善をめざします。

「深野中学校がより良い学校になるための意見」についてです。まず、学校や教職員に対しての温かい言葉をたくさんいただいたことにお礼を申し上げます。特に今回は、学校行事における生徒の自主性が感じられることへの言葉がいくつもあり、大きな手応えを感じました。また、前年に引き続き、校則を自分たちで考える機会を設けた「校則検討委員会」（今年度より名称が変わり、「Change Rules 委員会」）の取り組みも評価していただいているようです。今後も生徒が自分たちの手で「居心地の良い深野中学校」を作っていく活動を応援していきたいと思います。各教員からの「学級通信」や「学年通信」などの広報活動についても高評価をいただきました。工夫を凝らした通信は読むだけでその場面が浮かび、子どもたちの生き生きした姿が想像できますね。保護者の皆さまからの励ましや応援は、私たちにとって何よりのモチベーション向上につながります。ありがとうございました。その他では、生徒指導、部活、給食などについての意見や要望がありました。生徒指導については、家庭と協力しながら、生徒が自分たち自身で生活を整える、いわゆる「自治」の力をつけられるよう支援していきます。最後に部活動に関してですが、前年度にもお伝えしたように、大東市でも地域移行が進められています。他市でも活動が原則教員の勤務時間内に収めているところがほとんどで、すべての要望に応えることができない場合があります。どうかご了承いただきたいと思います。

今回いただいたアンケート結果を校内で共有し、今後の学校運営に活かしていきたいと思います。最後にお願いがあります。今回のアンケート回収率は全体の42%と、まだまだ低い数値となっています。できるだけ多くの方の考えを、これからの学校運営に反映したいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

学校教育診断にご協力いただき、本当にありがとうございました。

📷 Change Rules 委員会の様子 📷

